

# 桑村常彦先生 略歴

満年齢

(敬称略)

2024/1/28 改4 (文責 平澤英昭)

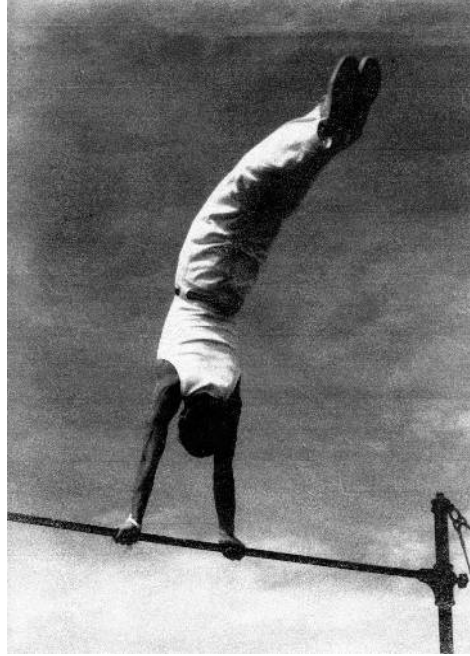
T 11	(1922) 8/3	0	東京市深川区にて桑村家長男として生まれ、T12 の関東大震災に被災して転居、東京市下谷区竹町 (現 東京都台東区台東4丁目) にて育つ。
S 15	(1940) 3/	18	東京市立第一中学 卒業 (のち都立九段高校、跡地は現在 千代田区立九段中等教育学校)
S 17	(1942) 9/	20	<b>桐生高等工業学校</b> 色染化学科 戦時繰上げ 9月卒業
S 20	(1945) 9/	23	<b>東北大学</b> 理学部化学科 有機第1研究室 (野村 博 教授・真島利行先生の直系) <b>卒業</b> (終戦 S20/8/15 の直後の混乱期で、卒業後暫くは職なし)
S 20	(1945) 12/	23	<b>桐生工業専門学校</b> 色染化学科 岩本健二 研究室に研究助手として就職
S 23頃	(1948)	26	<b>京都大学</b> 工学部 応用化学科 (小田良平教授の研究室) へ内地留学
S 24	(1949) 3/11	27	森 百合 (山形工専校長・山形大学学長 森 平三郎 3女) と結婚
S 24	(1949) 4/	27	群馬大学 工学部色染化学科 繊維化学講座 (根岸道治教授) <b>助教授に就任</b> 界面化学を担当 (S24/4 新制大学 発足)
S 28頃	(1953)	31	桐生市平井町3-25 へ新居
S 30頃?	(1955)	33	十二指腸潰瘍で順天堂大学病院に入院、胃を半分切除
S 32	(1957) 5/15	35	工学部 応用化学科本館 火災により焼失。分析山縣研究室より出火、桑村研究室は全焼 (類焼)
S 35	(1960) 3/	38	京都大学にて <b>工学博士の学位取得</b>
S 35	(1960) 4/	38	群馬大学 工学部 合成化学科 <b>有機合成第2講座 (石油化学) 発足</b> (合成化学科は4講座) 桑村常彦 <b>教授</b> 亀山栄一 講師 高橋秀男 助手 (S37/12~)
S 41	(1966)	44	( 亀山栄一講師 京都大学へ1年間出張 )
S 42 ?	(1967)	45	教務委員長として啓真寮の新寮闘争に対応 (S43/12 新寮 完成、S44/5 移転完了)
S 43	(1968) 9-10	46	第5回国際界面活性剤会議 (スเปน) で研究成果を報告/小林富三氏 (17Dの同期 東京測器研究所 社長) 同行
S 46	(1971)	49	( 亀山栄一 助教授 昇任 )
S 48	(1973) 8/	51	( 亀山栄一 助教授 米国 (フィラデルフィア市) テンプル大学に1年間留学、不安定中間体の研究。)
S 49	(1974) 4/1	52	第8回 昭和48年度 日本油化学協会総会にて 油化学協会賞 論文賞を受賞 「界面活性剤及び関連化合物の合成と性質に関する研究」
〃	( 〃 ) 11/23		( 桑研同窓会 発足 (杉山資四郎 会長)、 S50/1/23 <b>発慶会</b> と命名・桑研ニュース 1号)
S 50	(1975) 1/	53	( 高橋秀男助手 東京大学にて工学博士の学位取得 )
S 51	(1976) 9-10	54	9/12~18 第7回界面活性剤国際会議 (モスクワ) でボリグ・リコール系非イオン活性剤の界面活性に及ぼす疎水部構造効果に関する研究成果を報告。座長も担当。航空荷物がソ連から日本へ送り返される騒ぎあり。続いて約2ヶ月ソ連、スウェーデン、西独、カナダ、米国の研究所を歴訪。
S 57	(1982) 8/3	60	還 暦
〃	( 〃 )	60	群馬大学工業会 副理事長として 財団法人 群馬大学科学技術振興会 設立に大きく貢献。 (財団 S58/4 設立)
S 63	(1988) 3/	66	<b>定年退官</b> 名誉教授 (合成化学科 有機合成第2講座の後任は西村淳教授)
H 1	(1989) 1/	67	普通運転免許 取得
H 10	(1998) 8/14	76	良性耳下腫瘍の手術で群大病院に2ヶ月入院
〃	( 〃 ) 11/3	76	<b>勲三等 叙勲</b> (H11/5/29 喜寿・叙勲祝賀会を東京 錦糸町東武ホテルで開催)
H 20	(2008) 夏	86	ベストライフ星の里 (富岡市 後賀) へ入居
H 23	(2011) 秋	89	ブルーメンハイム トーホー (太田市 藪塚) へ転居
H 24	(2012) 11/6	90	急性呼吸器不全により <b>逝去</b> (90歳)、墓所：曹洞宗桐生山鳳仙寺 (桐生市梅田町1-58)
H 25	(2013) 2/9	一	桑村先生を偲ぶ会 桐生市民文化会館で開催。参列者130名。
〃	( 〃 ) 3/	一	群馬大学工業会報 148号に追悼文が掲載される
R 2	(2020) 3/5	一	<b>百合 夫人</b> 肺炎にて <b>逝去</b> (94歳)

ご家族 : 桑村 百合、(長女)登坂 慶子、(次女)松澤 貴久恵  
註: 亀山栄一先生の学位取得の時期 確認できず

## 偲ぶ会での「写真コーナー」画像(一部)



幼少時代 [T12(1923)]



東京市立一中時代”大車輪” [S14(1939)]



研究助手時代\_教官執務席にて



S28(1953)年



S29(1954)年

大貫海岸海水浴場(千葉県富津)



教授室にて [S39(1964)]



第5回国際界面活性剤会議(バルセロナ) [S43(1968)]



第7回国際界面活性剤会議(モスクワ)講演 [S51(1976)]



スキー合宿 (菅平) [S42(1967)]



研究室対抗野球 [S44(1969)]



北軽井沢輪講合宿 [S44(1969)]



テニス合宿(伊香保) [S56(1981)]



第6回発慶会ゴルフコンペ(桐生CC) [S61(1986)]



退官祝賀会(きのこ会館) [S62(1987)]



参賀”熟成酒をどうぞ” [H7(1995)]



喜寿・叙勲祝賀会 [H11(1999)]



H12旅行会(台湾) [H12(2000)]



H13旅行会(志賀高原) [H13(2001)]



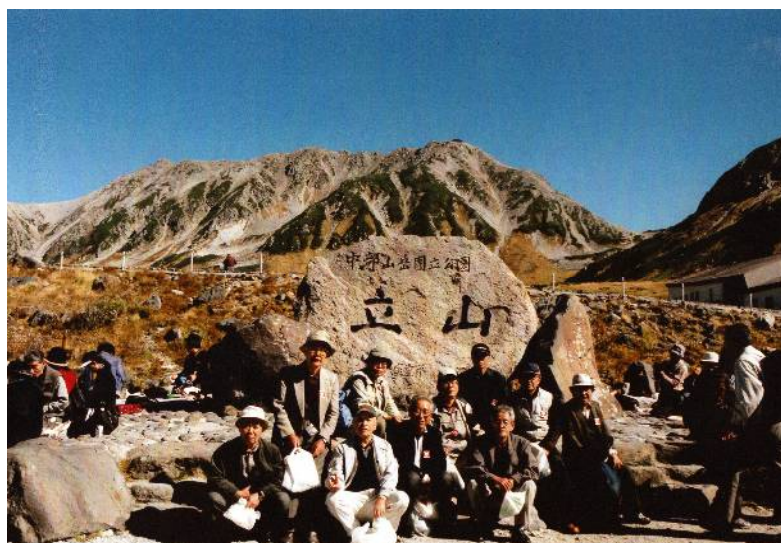
平成14年11月4日 発慶会旅行 那須茶臼岳にて

H14旅行会(那須高原) [H14(2002)]



平成16年11月20日 発慶会旅行関西方面 花王研修所宿舎

H16旅行会(関西方面) [H16(2004)]



H17旅行会(アルペンルート) [H17(2005)]



第29回ゴルフコンペ(城山CC) [H17(2005)]



平成18年10月12日 発慶会旅行 猿ヶ京温泉与謝野品子記念館々長との会話

H18旅行会(猿ヶ京) [H18(2006)]